

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は 2022 年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は、全天候舗装である。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は、12mm以下とする。これらのピンの直径は、少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。(TR5.2)

3 練習会場について

- (1) 練習はプログラム記載の(P14)に指定された会場で、練習会場使用日程表及び練習会場での注意事項を熟読の上実施すること。
- (2) 競技場内での練習は競技役員、練習会場については係の指示に従うこと。特に投てき練習については、監督の付き添いのもと、安全に留意して行うこと。

4 招集について

- (1) 招集所は、第2ゲート付近バックスタンド内通路に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、プログラム(P2・4・6)の競技日程に記載している。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場するものとして処理する。
- (4) 招集方法については、次の通りとする。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピン及び競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標点検を受ける。その際、トラック競技の競技者のみ腰ナンバー標識(2枚)を受け取る。
 - ② ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(TR6.3)
 - ③ 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ④ 代理人による招集の最終確認は認めない。
 - ⑤ 出場種目を欠場する場合は、TICに用意してある「欠場届」に必要事項を記入して、招集完了時刻までに招集所に提出すること。

5 競技について

- (1) 当該種目の競技者以外は、競技場に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) 不正スタートについては、1度の不正スタートでその責任を有する競技者は失格とする。
※ 300mまでの種目では、判定の補助としてSIS(スタート・インフォメーション・システム)を使用する。
- (4) トラック競技では、すべて写真判定装置(全自動電気計時)を使用する。
- (5) セパレートレーンで実施するトラック競技では、欠場者のレーンはそのまま空ける。
- (6) 男女3000m競歩においては、ペナルティゾーンを設ける。(TR54.7.3)
- (7) 走高跳を除くフィールド競技の計測は、全て光波距離計測器を使用する。
- (8) フィールド競技における競技場内での練習は、競技役員の指示により行う。公式練習は、2回とする。
- (9) フィールド競技は、走高跳を除いて主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり・ジャベリックスローの競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルを使用する投てき種目では、各競技者の試技中に一時的に、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーは、サークルの直後あるいはサークルに接しておくこと。使用することができるマーカーは、希望者に競技役員が現地で渡す。

そのマーカー以外は使用してはならない。ただし、走高跳のマーカーは各自が用意したもの(粘着テープ)とする。

なお、使用したマーカーは、競技終了後各自で回収すること。

(10) 棒高跳に出場する競技者は、支柱を自分の希望する位置に移動することができる。

ただし、希望する支柱の位置を予め「棒高跳支柱移動届」に記入して、当該競技役員に提出しなければならない。また、競技開始後に、事前に届けた支柱の位置の変更を希望する場合は、支柱がセットされる前に当該競技役員に申し出ること。

なお、公式練習は、ゴムバーを使用して行う。

(11) 三段跳の踏切板は、U18男子は13m・女子は10m、U16男子は11mか10m・女子は9mか8mで行う。U16の三段跳の踏み切り板の位置は各自で決定できる。

※ 跳躍種目でA・Bピットに分かれて行う場合は、競技終了まで割り当てられたピットを変更してはならない。

ただし、U16男女の三段跳の場合は、競技開始後であっても競技役員に申し出てピットを変更することができる。

その際、助走練習はできない。

(12) 試技数については、走高跳・棒高跳は連続する3回の無効試技で競技終了とする。その他のフィールド種目はすべての競技者に3回の試技が与えられ、3回の試技の終了時点で上位8名には、さらに2回の試技が与えられる。

(13) 競技者に対する競技場内での助力は禁止とするが、助言については、「コーチングエリア」で行うことができる。

(14) 競技者は、審判員の許可を得ることなく、競技場を離れることはできない。(TR25.19)

(15) 電子機器を競技エリアへの持ち込みは禁止する。持ち込んでいる場合は、助力とみなされる場合がある。

(16) 審判長が認めた場合、帽子、靴、衣類、水、氷などを該当審判員を通して渡すことができる。(TR6.4.6)

(17) シューズの靴底(ソール)の厚さについて (TR5.2)

① シューズとは、スパイク・ランニングシューズを含むものである。

② トラック種目について、800m未満の種目(ハードル種目を含む)は、20mm以下、800m以上の種目(障害物競走を含む)は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。

③ フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。(TR5.2)

(18) ジャベリックスローのルールはやり投競技に準ずるが、距離の測定は器具が地面に最初に触れた地点から計測する。複数面が同時に着地した場合は、最短距離を計測する。

(19) 提出書類は、下記のとおりとする。これらはすべてTICで受け取ること。

なお、TICは競技場左側階段付近に設置している。

	提出書類	用紙提出場所	提出時間
1	欠場届	招集所(競技者係)	招集開始時刻まで
2	棒高跳支柱移動届	競技場所	公式練習前、担当競技役員へ
3	抗議申し立て(口頭)	TICを通して抗議担当総務	予選・正式発表後15分以内 決勝・正式発表後30分以内
4	上訴申立書	抗議担当総務	予選・正式発表後15分以内 決勝・正式発表後30分以内 及び裁定が通告されてから上記の時刻まで
5	投てき用具検査申請書(預かり証)	TIC	招集開始60分前から、招集開始時刻まで
6	記録証交付願	TIC	競技終了後、随時
7	プログラム訂正用紙	TIC	競技開始まで

6 抗議と上訴について (TR8)

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、その種目の結果が正式発表(大型映像表示終了時刻を基準とする)されてから30分以内、同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内に審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者は、T I Cを通して抗議担当総務員に申し出ること。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、競技者、当該競技者の監督もしくはその代理人により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」をT I Cを通じて Jury に提出されなければならない。

なお、「上訴申立書」の提出時刻は、審判長による説明から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、または、審判長による説明から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

7 アスリートビブス (以下ビブス) について (TR5. 7)

- (1) ビブスは配布された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、腰の左右後方につけること。
- (2) U16 都道府県代表枠に出場する競技者は胸部に「都道府県名」、背部に「ナンバー」ビブスを付けること。
なお、跳躍競技においては、「ナンバー」ビブスを胸部もしくは背部につけること。

8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用する。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

9 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の決勝については、主催者がルールに則り、レーン順を決定する。フィールド競技(走高跳・棒高跳を除く)の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、後2回の試技をする。
- (3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たとき(以下同タイム者という)は、下記の方法で決定する。(TR21)

- ① 100m・150m・300m・100H・110H・300Hの同タイム者については、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を考慮して進出者を決定する。それでも同成績がありレーンに余裕がない場合は、同成績者または代理人によって大会本部において抽選する。

なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人がT I Cに来なかった場合は、主催者が代行する。

- ② 800m・1000m・1500mの同タイム者は、決勝ラウンドに進むことができる。

10 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用「ポール」以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき器具において、通知した競技場備え付けの投てき用具リストにないもの及び、2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。

※ 持ち込み希望者は招集開始時刻1時間前から招集開始時刻までに、T I Cで「投てき用具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預かり証」を発行の上一括借り上げとし、出場者全員で共有できるものとする。借り上げた用具は、その競技終了後T I Cで返却する。

なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。

- (2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んではいない。
- (3) 競技場に備え付けの投てき用具は、プログラム記載(P17)のとおりである。

(4) ハードル種目の規格は次の通りとする。

U16男子 110mハードル		U16女子 100mハードル		U18男子 110mハードル		U18女子 100mハードル	
高さ	ハードル間	高さ	ハードル間	高さ	ハードル間	高さ	ハードル間
0.991m	9.14m	0.762m	8.50m	0.991m	9.14m	0.762m	8.50m
				U18男子 300mハードル		U18女子 300mハードル	
				高さ	ハードル間	高さ	ハードル間
				0.914m	35m	0.762m	35m

(5) 投てきの重量は次の通りとする。

	U16男子	U16女子	U18男子	U18女子
砲丸	5.000kg	2.721kg	6.000kg	4.000kg
円盤	1.500kg	1.000kg	1.750kg	1.000kg
ハンマー			6.000kg	4.000kg
やり			800g	600g
ターボジャブ	300g	300g		

11 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

種目・種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
U16男子走高跳	1m75 1m85	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	1m97	2m00	以降3cmずつ上げる
U18男子走高跳	1m85 2m00	1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	2m07	2m10	以降3cmずつ上げる
U16女子走高跳	1m45 1m55	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	1m70	以降3cmずつ上げる
U18女子走高跳	1m50 1m60	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	以降3cmずつ上げる
U16男子棒高跳	3m80 4m20	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	以降5cmずつ上げる
U18男子棒高跳	4m40 4m70	4m50	4m60	4m70	4m80	4m85	4m90	4m95	以降5cmずつ上げる
U16女子棒高跳	2m00 2m50 3m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m10	3m15	以降5cmずつ上げる
U18女子棒高跳	3m10 3m40	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m75	以降5cmずつ上げる

- (1) 走高跳・棒高跳において、最後の一人になり、優勝者が決定するまで上記の上げ方とする。
- (2) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
- (3) 第1位が同成績の場合による順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。(TR26.9.4)

12 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。
- (2) 第4ゲート付近の北エントランスで更衣した競技者は、予選の競技終了後、フィニッシュ付近の競技場出入り口前でスパイクを脱ぎ、競技場内通路を通過して北エントランスに戻り、更衣後退出する。
決勝レース後は、フィニッシュ付近のテントで更衣をし、ミックスゾーンでインタビューを受けた後、入賞者管理係の誘導で表彰者控え所に移動する。
- (3) 第1ゲート、フィニッシュ付近のテントで更衣した選手は、競技終了後更衣をし、第1ゲートから退場する。
決勝レース終了後、1～8位までの入賞者は、フィニッシュ付近テントで更衣をし、ミックスゾーンでインタビューを受けた後、入賞者管理係の誘導で表彰者控え所に移動する。

- (4) フィールド種目の競技者は、競技終了後、マーシャルの指示に従って退場する。
1～8位の入賞者は、マーシャルの誘導でミックスゾーンに移動し、インタビューを受けた後、入賞者管理係の誘導で表彰者控え所に移動する。

13 表彰について

- (1) 各種目の1～3位入賞者には賞状とメダル、4～8位の入賞者には賞状を授与する。
(2) 1～8位の入賞者は、主催者が設置した表彰場において表彰する。
(3) 表彰式の服装は、ユニフォームまたはチームジャージ(上半身はチームTシャツも可)で出席すること(下半身はジャージ等が望ましい)。

14 その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した障害や疾病は、メイン競技場内の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
(2) 競技中、明らかに競技続行が困難となった競技者に対し、競技者本人が競技続行の意思を表していても、競技者の生命・身体保護の観点から審判長もしくは医師の判断で競技を中止させることがある。
(3) 荷物は各自で管理すること。紛失等の場合があっても責任は負わない。
(4) 遺失物は、TICで保管する。
(5) 公園内でのテントは、許可区域以外に設置しないこと。
サブ体育館とメイン体育館の観客席を待機場所として使用することができる。
(6) 競技会場及び練習会場への入場時は、ADカードを提示すること。
(7) 更衣室及び更衣テントをサブ競技場に用意している。そこは更衣のみに使用し、荷物は更衣室・テントには置かずに各自で管理すること。
(8) メイン競技場内の横断幕及びのぼり旗については、横断幕はバックスタンド中段より上か、両サイドスタンド最上部の手すりに紐で括り付けて設置すること。
なお、設置にあたっては、「通路をふさいでの設置」、「養生テープ・ガムテープでの固定」、「個人名入りのもの」は禁止する。
※ 横断幕は1校1枚、のぼり旗は1校2本以内とする。
(9) 全ての競技において、声出しの応援は禁止する。
(10) 車いす用観覧席を本来の目的以外に使用すること(観戦・休憩)は禁止する。
(11) 記録証の交付を希望する競技者は、TICに「記録証交付願」を提出し、交付料金500円を添えて申し込むこと。
(12) 送付された棒高跳ポールは、第3ゲート・用器具倉庫で保管しているので、各自で確認すること。
棒高跳ポールの返送については、競技終了後、日本陸連HPのポール輸送システムを利用している場合、TICにおいて各自が手続きを行うこと。なお、輸送業者の棒高跳ポールの回収は10月24日(月)になるので、それまで用器具庫で保管しておく。

《 感染症に関する注意事項 》

ア 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のこと留意すること。

- ① 練習中や競技中以外はマスクを着用すること。
- ② こまめに手洗い・洗顔または手指の消毒を行う。
- ③ 3蜜回避行動を心がける。
- ④ 以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる。
 - ・体調がよくない場合(咳、鼻水、咽頭痛、下痢、味覚・臭覚障害などの症状がある場合)
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合。

イ 主催者が加入している保険は大会運営役員のみが該当する保険であり、熱中症に対する補償は含まれているが、感染症に対する補償は含まれていない。

ウ 主催者は当該競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。